

PROGRESS ~前進~

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから⇒



「基本的生活習慣」を
身につけよう
<6月・7月>

今回は、先日行われた3年生の修学旅行に帯同して、感じたことを紹介していきたいと思います。「これが、今の東中を形作っている要因の一つやな」と、強烈に感じました。

【集団の力・信頼の力】～3年生の修学旅行で感じたこと 「限らない可能性」～

まずは、何と言っても「あいさつする」「時間を守る」・・・先生（桐山）が、また学年の先生方が常日頃から言い続けている【基本的生活習慣の確立】です。

あいさつについて、先生にしてくれることは言うまでもなく、バスのドライバーさんやガイドさん・体験活動のスタッフさん・ホテルの方々に対しても・・・「おはようございます！」「お願いします！」「ありがとうございました！」「おやすみなさい！」・・・あらゆる場面であいさつの声が飛び交っていました。多少眠たくて疲れていても、会釈（えしゃく）だけでもする・元気な時は、明るくハツラツとしたあいさつをする・・・相手の方に心を寄せたあいさつができていたと感じます。

時間については、パーフェクトだったのでは？しおりを見て主体的に行動することや、工夫を重ねて行動することの積み重ねで、一番心配だった最終日の集合もクリアし、結果的に新横浜駅でゆとりを生み出すこともできました。

まあ、これらのことは「できて当然」のことではあります。しかし、「できて当然」のことが「できない」ことの方が多いの事実・・・でも、3年生は見事にやり切っていました。

「何でかな？」と、先生（桐山）は修学旅行期間中、寝る間も惜しんで考えていたのですが、「これかな？」と思ったことが2つあります。

1つは【集団の力】、もう1つは【信頼の力】です。

【集団の力】

ある先生から、「〇組では、生徒の中から自主的に〔余計な物持って言ったり、いらん事したり、絶対やめような。修学旅行成功させような。〕という働きかけがあったみたいなんです。」と聞きました。これも、当たり前のことなんだけど、すごいことだと思います。「何としても、修学旅行を成功させたい！」という思いが、集団にとって、ものすごいプラスのエネルギーとなり、雰囲気を作り上げたのでしょう。

また、集団行動が少し苦手だったり、ちょっとした不安を抱えているクラスメイトに、「いける？大丈夫？」と・・・バス内や、体験場所や、食事会場で・・・周りのみんなが、本当にたくさんのあたたかい言葉かけをしている様子を見ました。

【信頼の力】

これは、うまく表現できないのですが、「どの場面でも〔安心〕を感じることができる」とでも言うておきましょうか・・・とにかく、周りの仲間や先生に対しての「信頼」を感じました。それも、結構強い信頼感です。

少し荒っぽい表現になりますが、「調子乗ったり」「イキッたり」することなく、普段通り過ごして、普段通り仲間と接して、普段通り先生としゃべって・・・肩肘（かたひじ）張ることなく、心地よい時間を過ごす・・・信頼があるからこそなせる技だなあ、と思いました。

グループでの行動や、レクの盛り上がり、集約されていたと思うし、【信頼の力】が、さらなるプラスのエネルギーを生み出したのだと思います。

あと、3年所属の先生以外では、唯一先生（桐山）が昨年に引き続き、宿泊行事に同行しました。昨年の宿泊訓練では、色々な課題も見つけ、次年度への改善が期待されていました。ところが、それらの課題克服どころか、「1年でこんなに集団って変わる？」と心から感じた修学旅行でした。細かいことを言えば、指導されることや、不本意に思ったこともあったかもしれませんが、でも、一度も（変な意味での）緊張感を感じることなく過ごせました。3年生の皆さんと、3年生の先生方とが、今まで積み上げてきた「集団の力・信頼の力」・・・見事に表現されていたと感じました。

東中生の**【限らない可能性】**に気づかせてくれた3日間でした。

そして、1年生・2年生の皆さんも、大きな行事が終わりました。よかったこと・改善点、全てひっくるめて「1年でこんなに集団って変わる」のです。いい方向に変化するためには、「集団の力・信頼の力」が絶対必要だと思います。でも、これらの力は、1日2日で向上するものではありません。

正しいことを正しいといえる雰囲気・個人ではどうにもならないことを集団でプラスのエネルギーに変える雰囲気・・・「限らない可能性」を信じて、「集団の力・信頼の力」をもっともっと高めて、**【日本一の中学校】**に近づこうではないですか！